

《株式会社エフエム東京 第417回放送番組審議会》

1. 開催年月日:平成 27 年 4 月 7 日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数6名(社外6名 社内 0 名)

◇出席委員(5名)

横 森 美 奈 子 委員長                      渡 辺 貞 夫      委員  
秋 元      康      委員                      ロバート・キャンベル 委員(新任)  
川 上 未 映 子 委員(新任)

◇欠席委員(1名)

内 館 牧 子 委員

◇社側出席者(8名)

富木田 代表取締役会長  
千 代 代表取締役社長  
唐 島 専務取締役  
石 井 常務取締役  
山 科 常勤監査役  
村 上 執行役員 編成制作局長  
延 江 編成制作局 ゼネラルプロデューサー  
宮 野 編成制作局 編成制作部長  
森 田 編成制作局 コンテンツ制作特命担当 兼  
マルチメディア放送事業本部 ゼネラルプロデューサー(オブザーバー)

◇社側欠席者(2名)

平              常務取締役  
藤              取締役 マルチメディア放送事業本部長

【事務担当 村上放送番組審議会事務局長】

4. 議題: 番組試聴 (約 20 分)  
「Radio Disney 『ADVENTURE OF SOUNDLAND』」  
2015 年 4 月 3 日(金) 23:30～23:55 放送

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■2015 年 2 月度 聴取率調査結果について

2 月度聴取率調査結果が発表されました(調査期間:2015 年 2 月 16 日(月)～22 日(日)、ビデオリサーチ調べ)。全日週平均(6:00-24:00)において、【12-59 才】区分の聴取率で在京ラジオ局中同率首位、【20-34 才男女】区分では前回まで堅調に推移していたものの今回下降、編成戦略としては課題を残す結果となり、【30 代男女】区分で同率首位、【40 代男女】区分では単独首位を獲得しました。また、【12-59 才】の到達率(リーチ)では 7 期連続で単独首位を継続中で、幅広い世代のリスナーから高い支持を獲得する結果が得られました。

当社の強みであるリーチの高さを維持拡大させながら、リスナーに長く聴取してもらえるような番組演出面の強化、選曲・企画の再検証に取り組み、さらなる聴取率向上に努めてまいります。

■EARTH×HEART LIVE 2015 開催について

TOKYO FM をはじめとする JFN 加盟 38 社では、ステーションメッセージである「アースコンシャス～地球を愛し、感じる心」、「ヒューマンコンシャス～生命を愛し、つながる心」の理念を象徴するコンサート「TOKYO FM&JFN present EARTH×HEART(アース・バイ・ハート)LIVE 2015 supported by JA全農」を、2015 年 4 月 18 日(土)、4 月 19 日(日)、東京国際フォーラムホールAで開催いたします。

1990 年の第 1 回開催から 26 年目を迎えるこのコンサートですが、今年は TOKYO FM 開局 45 周年を記念して、TOKYO FM にゆかりのある以下3組のアーティストによる、初のコラボレーションが実現いたします。

今年は当初一回限りの公演予定でしたが、反響も大きく、追加公演を実施することとなりました。

また、中国国際放送をはじめとするアジア各国及びアメリカカレッジラジオネットワーク、EBU(欧州放送連合)などを通じて世界に番組を届ける予定です。

出演:松任谷由実、秦 基博、JUJU

ストーリーテラー:大沢たかお

演出:音楽プロデューサー松任谷正隆

映像ディレクション:Rhizomatiks(ライゾマティクス)



この模様は、4 月 22 日(水)19:00～21:00 に TOKYO FM はじめ JFN38 局ネットで特別番組として放送いたします。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○聴取率下降の原因はどう考えているか？

■昨年度は復調の兆しもできていたが、リーチの高さに対して、20～34歳区分の「総聴取分数」が伸び悩み、この世代の聴取率の数字を下げる要因になっている。非常に大きな課題と認識している。

○アースデーのライブの会場は東京国際フォーラムに移ったのか？

■昨年に続き、今年も東京国際フォーラムで行う。一昨年は NHK ホールで実施した。以前は日本武道館で毎年続けていたが、ここ数年は音響の良さやホールの品格、キャパシティ、アクセスの良さなどを考慮して、東京国際フォーラムでの開催が多くなっている。

議題2: 番組試聴 (約20分)

【番組名】「Radio Disney 『ADVENTURE OF SOUNDLAND』」

出演：内山 昂輝 (コウキ)、  
DJ LOVE (SEKAI NO OWARI) ほか



【放送日時】 2015 年 4 月 3 日 (金) 23:30~23:55 放送

【番組概要】

本日試聴いただくのは、4月3日(金)よりスタートした、世界で展開するディズニーのオフィシャル放送ブランド“Radio Disney”が公認したレギュラーラジオ番組、「Radio Disney 『ADVENTURE OF SOUNDLAND』」です。

“Radio Disney”はディズニーのオフィシャル・ラジオ・ブランドで、世界各国で国ごとの様々な取り組みが行われていますが、今回、日本では初めての公認番組となります。

この番組、「ADVENTURE OF SOUNDLAND」は、ディズニーの冒険アトラクションのように、ファンタジーの世界を旅するドラマ仕立ての音楽番組です。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見 / 「■」社側説明)

○面白く聴いた。冒頭の「博士」と「Sara」のシーンは少し堅いように感じたが、DJ の「ショウ」が登場してからは、演技も自然で、音楽がかかるきっかけもストーリーに自然に組み込まれていてスムーズに聴けた。ただ、毎回曲がかかるきっかけをストーリーと連動させるのは難しいのではないかという予感もある。

また、劇中にかかる「You Made Me So Very Happy」という曲に“悲しみがある”と言ったセリフがあったが、リアルタイムにこの曲を知る自分としては、その印象はないので、どういう意図だったのか理解しきれなかった。

最後の「When You Wish Upon A Star」は自然な形でディズニーソングにつながっていて良かった。

○ナイスなアイデアだと思う。普通のトークや音楽で 30 分程度の番組は簡単に作れるところ、これだけ手間をかけている。こういうことを TFM としてやっていかなくてはいけないし、これがコンテンツだと言える。

その中で、どうしてもよくわからないのは、この番組を誰が聴くんだ？という点。音楽だけ聴きたい人にはドラマ部分は面倒くさいと思われるだろう。それは、底抜けにただ面白さを目指しているというより、結局スポンサーが喜ぶように作らなくてはいけないところにジレンマがあるように思う。そのために、いろいろな設定や説明が必要になり、純

粹にいい音楽を聴きたいリスナーが不在になっている。ディズニーの番組なら他にも作り方があろうが、ドラマ仕立てでやっていくのはすごく難しい企画だ。

また、制作者が誤解しがちな、リスナーに思いを一生懸命説明してしまう説明過多の部分も感じられた。リスナーはそれほど説明されなくても、なんとなく聴いているだけなのに、ドラマの中で、「いい曲だ、ボリュームを上げてみるかね？」とわざわざ音楽のかけ方を提示している。いつの間にかドラマが途切れて曲のボリュームが上がっても、聴いている方は特に変とは思わないのに、どうしても制作者はドラマの一貫性を持たせようとするから、余計な説明とわざとらしさが加わってしまう。

テレビでも、ラジオでも「先週はこうだったんですけど・・・」と前回とのつながりを一生懸命説明しようとする番組があるが、先週見ている、聴いている人はそんなにいない。例えばテレビのバラエティなどでも、収録回が違って出演者の洋服が違うことを制作者が気にしたりするが、もっと内容の勢いや、「面白ければ何でもつながる」という自信があれば、いい音楽があれば、そこに説明は不要だと思う。

○ディズニーとのコラボレーションというのは、良い取り組みなのだと思う。ディズニーという子ども向けという先入観があるが、この番組は放送時間が深夜であり、果たしてこの時間の編成でいいのかというのをまず感じた。

番組を実際に聴いてみての最初の印象はおしゃべりが疲れる。夜中に聴くような声ではない。番組としてこれから面白くなることを期待するが、ディズニーとコラボレーションしなくても、TFMとして独自にこのような番組はできたと思う。

ただディズニーには、聴いて楽しい曲、良い曲はたくさんあるので、せっかくの音楽をもっとたくさん聴かせてもらえるといい。今回は初回のせいか、説明が多く、また、音もすべてオンマイクの剥き出しの音で、聴いているだけで疲れたという印象だった。ファンタジーの世界なのだから、音作りももう少し工夫してはどうか。

○24歳のDJ「ショウ」くんの現実世界と、「SOUNDLAND」というファンタジーの強い世界と、23:30という放送時間。20～34歳の世代のリスナーを意識するとした場合、DJのショウくんの境遇や将来への不安など、シンパシーを持って能動的に聴いてくれる期待もなくはないが、一方のSOUNDLANDは子どもが聴くようなファンタジーの世界とのギャップが強いというのが最初の印象だ。

24歳のショウくんの世界と、SOUNDLANDとの行き来がうまくいくと一つの世界観で成立すると思うが、今はどちらに主軸を置けばいいのか、1回目ではよくわからなかった。

物語と一緒に音楽が聴けるのはラジオならではの演出として、刺激的なチャレンジだと思うが、作り込まれた世界観を、毎回新しく聴く人もいる中で、2回目からはこの設定をどう共有していけばいいのか、というのが疑問だ。

■番組の冒頭の前テーマに、あらすじを乗せるつもりだ。

○世界観が共有されれば、2回目以降、能動的な聴取になっていく可能性はあるが、時間帯なども考えると少し引っ掛かる点だ。

また、聴いていて音楽になるとほっとする印象があった。もっと長く音楽を聴いていたいと思ったので、音楽とドラマ部分のバランスもうまくってほしい。

○自分もディズニーライセンスに関わる仕事をしたことがあるが、世界で一番厳しいブランドライセンスだと思う。この番組に関しても、Radio Disney というものがあるのは初めて知ったが、番組のチェックは都度必要なのか？

■毎回チェックの必要はない。2年ほど前に、ウォルト・ディズニーが国ごとに独自の判断、独自の決定でコンテンツを手掛けていいというルールに変わり始めた。この90年間、世界の共通コンテンツ、共通レギュレーションを崩してはいけなかったディズニーだが、今のアジアのCEOが、国ごとに人種や宗教、すべて違うので、その土地に合ったディズニーコンテンツを提供する、その努力の集積が新しいディズニーのグローバルイズムだと提唱して、彼らも新しいやり方に挑戦している。企画骨子については、こちらから提案をし、日本法人を通じて本国のOKも出た上でやっている。今回ディズニーはスポンサーではなく、コンテンツパートナーという位置づけだ。

○ディズニーは喜ぶと思う。オンエア時間帯について、リスナーはどう思うのだろうか？

■放送時間に関しては、耳の痛い指摘だ。スポンサーがいないこともあり、諸般の理由で現状確保できたのがこの時間帯だった。

○あのディズニーが、ローカライズしたコンテンツを作るにあたり、TFMと組もうと言ってくれたのは、嬉しいことだが、結局それはディズニーとTFMの事情である。

番組を制作するときに、それが大物ミュージシャンや大物タレントを起用したものだとしたら、その出演者が内容をOKしてくれないと話が進まないから、制作者はみんなその人たちと話し、言うことを聴く。そういうときに、リスナーの存在をつい忘れて、制作者側だけで話がまとまろうとしがちだ。その最たる例がディズニーだ。

これが、ディズニーチャンネルの中や、ディズニーランドのホテルの中で流れている放送なら素晴らしいが、一般の人たちが聴くラジオでポツンといきなりこれがあると、何なんだろう？と思うであろう。日曜のお昼に、お母さんたちが子どもにディズニーの世界を聴かせようとする番組なのか、休みにしょっちゅうディズニーリゾートに行くような若い女性に向けたのか。ディズニーとのコラボに制約されたことで、最終的にどこに向けているのかわからなくなっているのではないか。

これはこの番組に限ったことではなく、あるときはスポンサー、あるときは強いアーティスト、プロダクションの意向を汲みながら制作をしなくてはならないときに、本当にリス

ナーが聴きたいものは何なのかを自問自答し続けたいといけない。

○ディズニーの捉え方は年代により違うと思う。若い人たちの感覚は、ディズニーをファンタジーの世界と捉えるというより、映画プロダクションとして面白い、ディズニーランドは楽しい、といったものではないか。ディズニーを神格化してしまうと、どうしても優等生的、子どもっぽい印象のものになる。ディズニーのファンタジーの世界に、24歳のDJ志望の男の子という違和感を持ってきたところで成立するような気もする。今の若者のDJ志望というのもリアリティがなく、それがターゲットが見えないという一因かもしれない。ファンタジーとリアルの違和感のせめぎあいが出れば面白いし、シチュエーションとしては悪くないが、ディズニーに敬意を表しすぎて、キレイに作りすぎている感じがした。ディズニーとのコラボは大変難しいチャレンジだと思う。

■今回のコラボレーションに際し、ディズニーの音楽を1曲かけてほしい、という希望はあったが、ディズニー側から特別な制約があるわけではない。最初はもっと宣伝くさいことをやってくれという要望もあったが、一緒にチームになって試行錯誤しているうちに、先方の空気感も変わってきた。

#### 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

#### 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送: 番組「SPO☆LOVE」  
4月25日(土)5:00～7:00放送
- ② 書面: TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット: TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

#### 7. その他

次回の放送番組審議会を、5月12日(火)に開催することを決めた。

以上